

センター便り

〒601-0715 京都府南丹市美山町下宮ノ上ミ14-1
山村留学センター「四季の里」
TEL : 0771-77-0232 FAX : 0771-77-0279
E-Mail : miyamasanryu@cans.zaq.ne.jp

冬休みの思い出と三学期の目標

- 花田真穂・・・家族みんなで和歌山に旅行に行って、雪の中の温泉がホカホカして気持ち良かった。
みんなともっと仲良くする、笑顔いっぱい最後のセンター生活にしたい。
- 松代萌恵・・・花の文化園へ家族みんなで行って、色々な花がキラキラかがやいていてとてもキレイで感動しました。
センター生活も残りわずかなので楽しい思い出を作る。
- 小島陽飛・・・前の学校(山口県)に遊びに行き、友達と久しぶりに会えてうれしかった。
三学期はドリルを最後まで終わらせれるように頑張る。
- 松本夢加・・・両親と映画を見に行ったこと。家族みんなで初もうでに行っておみくじをひいたこと。
勉強を頑張る、みんなと仲良くすごす。
- 柑本奈穂・・・家族みんなで勝浦と加太に泊まってゲームをして楽しかった。バスケットゴールを組み立てて、お姉ちゃんと一緒にシュートを入れてうれしかった。
最後の学期だから勉強も頑張りたい。みんなで仲良く楽しくして、なるべく多くの思い出を残したい。
- 岡部朱甫・・・両親とお兄ちゃんとおばあちゃんとおじいちゃんと焼き肉パーティーをしたこと。友達と家で遊んだこと。
苦手な教科を自主勉でする。
- 小川美麗・・・家族でシーパラダイスで遊んだのと水族館に行ったこと。
ばあばとじいじとなばなの里のイルミネーションを見に行ったこと。
センターや学校のルールを守る、勉強を頑張る

明けましておめでとうございませう
本年もよろしくお願ひします

一月六日、冬休みを久しぶりに家族と一緒に過ごした山村留学二十四期生七名が元気にセンターに帰って来てくれました。センター周辺の雪を見て子供たちはびっくりしていました。三学期は「あつ」という間に過ぎてしまいます。子供達には残り少ない時間を、美山の大自然の中でおもいっきり楽しんでほしいと思います。



2学期朝マラソン優秀者等の表彰



1月7日、3学期始業式を終えてセンターに帰ってきた子供たちに2学期朝マラソン優秀者と、昨年度に続き令和3年の一年間の台風の発生数予想の優勝者の表彰をしました。マラソンはマホ・ユメカ・ナオの3名が、台風の発生数はユメカが一個違いで優勝しました。3学期は雪の影響で走る機会が減りますがみんなに頑張ってほしいです。



誕生日会とクリスマス会



12月22日、センターでは12月生まれのナオとハルトの誕生日会と、二学期のしめくくりのクリスマス会をしました。前半はユメカとシュホの司会で二人の誕生日会です。二人それぞれに抹茶のデコレーションケーキとイチゴのクリームケーキにろうそくを立てて、みんなで「Happy Birthday to you」を合唱して祝福し、色紙とプレゼントを手渡しました。後半はマホとモエの司会進行でクリスマス会の始まりです。寮母さんが作ってくれたご馳走をお腹いっぱい頂いてからみんながクイズや音楽演奏で盛り上がり、いよいよプレゼントの交換です。袋の中を見てワイワイガヤガヤ、澤田さんと千代野母さんからもプレゼントもらって喜んでいました。その後「別腹」のケーキも頂いて笑顔でいっぱいでした。

雪かきと雪遊び

1月8日、センターの周りに昨年末から新年にかけて降り積もった雪がまだたくさん残っています。みんなで協力し合って雪かきをすることにしました。スキーウェアに着替えてスコップやそりを持って玄関に集合。降ってすぐのサラサラ雪とは違って下の方は凍りついて雪をどけるのも一苦勞。雪をかく人、その雪をそりに積んで捨てに行く人と役割分担をして2時間。何とかセンター号を出せるまでになりました。一休みした後はお待ちかねの雪遊びです。みんなそりを持ってセンターの裏庭へ、斜面の雪を踏み固めてみぞを埋めて準備完了。斜面の上から次々にすべって来ます。ソリ滑りにあきたら今度は雪合戦で「オリヤ!」。雪を満喫することが出来ました。



とんど焼き



1月11日、地域で行われた「とんど焼き」の行事に山留生たちも参加させてもらいました。ここ数年は雪のない「とんど」でしたが、今年はたくさんの雪の中で行われました。お正月に使った門松・しめ縄・お札などを燃やし、とんど焼きで焼いたおもちを食べて一年の無病息災を願ったり、書き初めを投げ入れ、空高く舞い上がるほど字が上達するとも言われている「とんど」。都会ではなかなか経験できないものです。子どもたちの書いた書き初めを火にかざしてもらおうと驚くほどのスピードで天高く舞い上がりました。最後はお待ちかねのおもちです。とんどの残り火で焼いてもらったおもちに砂糖醤油をたっぷりつけてもらって「パクリ」。みんな何個もお代わりをしていて、これで全員が健康な一年を過ごせることでしょう。

お母さんの一人言

新しい年を迎えました。
年明けから大雪、コロナ拡大と波乱の幕明けとなり不安な毎日の1年になりそうです。日々の生活、十分に注意を払って暮らさなければと思う所です。そんな中、センターの子供達も最終学期を迎え、後暫くとなりました。最後まで元気に何事もなくすごしてほしいと願っています。